



## 地域の自主的取り組み支援

区などが自主的に取り組む伝統芸能の保存や地元産品を生かした加工特産品の開発など、地域などで取り組む様々な活動を支援する市独自の補助制度ができました。補助の上限額は20万円ですが、地域の工夫や取り組みの内容次第で市からの補助を受けることができます。ちょっとした地域の取り組みで補助金が少しでもあれば助かるといった場合に役立ちます。予算額 [200万円]

## 新庁舎建設

老朽化が進み大幅に耐震性能が不足している本庁舎の建て替えに向け、本体工事の予算が可決されました。平成28年度分は10億円余りで、他に付帯工事費などが盛り込まれています。新たな建築場所は旧JA会館跡地で、武雄温泉駅にも近く駐車場も確保される見込みです。順調に設計と工事が進めば平成30年3月に新庁舎本体が完成する予定です。

予算額 [10億5152万円]

## ひとり親の支援

前向きに就労に取り組むひとり親を支援するため、資格取得などに要する費用の補助額が大幅に増えます。市が独自に行う制度で、これまで資格取得受講料の2割だった補助額を受講料全額（上限40万円）まで増やします。予算額 [500万円]

ひとり親が就業のため子どもをあずけるファミリーサポート事業の利用料が大幅に軽減されます。現在、最初の1時間が500円で2時間以降時間当たり700円の利用料が、初回のみ無料で2回目以降は時間当たり300円となります。小松市政は子育て支援と教育環境の充実を最重要課題としています。子育てをしながら働くひとり親にとって経済的支援にもつながる制度の見直しです。

## 朝日小官民一体型学校

### 花まる学園 いよいよ4月スタート

平成27年4月から武内小学校と東川登小学校で始まった官民一体型学校が、平成28年4月から朝日小学校、橘小学校、若木小学校に広がります。地域の皆さんと小学校が一体となって小学生の育ちに取り組めます。児童の顔に活気があふれ、積極的になったなどの成果もあるようです。飯の食える大人に育てる充実した教育環境が確実に広がっています。予算額 [1714万円]

## 農業振興

農業基盤整備の一環で暗渠排水工事や農作業道舗装工事、ため池改修などの事業が予定されています。暗渠排水工事は中野や川上、作業道舗装工事は川良や甘久などで実施される予定です。農業基盤整備は農業振興に不可欠な事業であり、治水や環境保全の面からも積極的な取り組みが必要です。小松市政が掲げる市民所得の向上にも寄与する重要な事業です。予算額 [1億1678万円]

## 健康寿命の延伸に向けて

### クオカードをもらおう！

誰しも健康で長生きしたいと願うものです。そのためには、日頃からの運動や健診は欠かせません。市民が健康づくりに取り組むことを目指し、健康ポイント制度をスタートさせます。参加には申請が必要で、健診や自ら設定する目標に従ってポイントが加算されます。5か月間で500ポイントに達すればクオカードをもらえます。多くの市民が健康であれば、医療費や介護費が削減され保険料などの削減につながることも期待されます。参加方法の詳細は市報などで紹介されます。予算額 [196万円]